



この新聞はHP (<http://www.npo-asia.org>) でも読めます。上のQRコードを読み取ってください
〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-18-22-414 E-mail: new-wind2006@npo-asia.org

4 大学合同交流会

4大学合同交流会が4月28日(日)午前11時から市谷JICA地球ひろばで会場参加48名のほかオンライン参加など総勢約130名が参加して開催されました。

司会はベトナム・貿易大出身の元Iメイト学生レー・ゴック・トゥーイさん、アジア風正会員の石橋順子(よりこ)さんから日本の伝統的な国技「相撲と神道」の紹介があり、参加学生からは「授業で聞いていたが相撲の動画は見たことがなかった。神道との関連など興味深い」など感想が聞かれました。

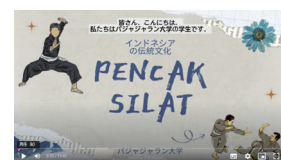
続いて、中国・清華大学からの「四季の伝統行事と春節」では素晴らしい映像による春節の紹介がありました。

タイ・タマサート大学からは、楽しいクイズと「タイの伝統衣装と食文化」が紹介され、民族衣装の変遷や珍しい伝統的な食文化について触れることができました。

「相撲と神道」

豊作を祈って1300年も前に神に捧げる格闘技として始まったと言われる相撲は、今では日本の伝統スポーツです。格闘家すなわち力士と呼ばれる人たちは、普通の人とはずいぶん違い、とても太っているし、頭はマグスタイルだし、まわし一丁、ほぼ裸で土俵上で戦います。まるで歴史が止まっているようです。

細菌やウイルスの存在が知られていなかった古代、病気やケガは悪霊が引き起こすと考えられ、「清める」「穢れを追い払う」と



<インドネシアの
ペンチャックシラット>

インドネシア・パジャジャラン大学からは「伝統武芸・ペンチャックシラット」が紹介され、伝統武道が多民族国家インドネシアをまとめるアイデンティティとして尊ばれていることを学ぶことができた、との感想が多く聞かれました。

ベトナム・貿易大学からは「ベトナム人女性の一生と伝統文化」のタイトルでベトナムの学校生活、結婚式、人形劇など伝統文化や豊かな大自然などについてとても印象に残る映像紹介がありました。

各大学の学生及び会場参加者から感想が述べられたあと、会場参加者は今日の交流会の感想など賑やかに懇談して、午後3時散会しました。(事務局長 西澤 逸実)

いった神道の儀式が多く見られます。

土俵の中に米など神に捧げる食べ物を埋め、試合の時に口を水ですすぎ、土俵に塩を撒き、四股(しこ)といって激しく土俵を踏んだりする所作は、すべて悪霊を体や土俵から追い出し無事に相撲が取れるようにという祈りなのです。

試合の勝ち負けだけでなく古代の人々の恐れや願いを様々な所作の中に見出し、古代に思いを馳せつつ現代を考えるのも相撲の楽しみ方の一つだと思います。(正会員 石橋 順子)



流暢な日本語に感銘

日本の国技である「相撲と神道」の紹介を皮切りに、清華大学の「四季の伝統行事と春節」、タマサート大学の「タイの伝統衣装と食文化」、パジャジャラン大学の「伝統武芸・ペンチャックシラット」、ハノイ貿易大学の「ベトナム人女性の一生と伝統文化」と発表が続きました。

各大学とも趣向を凝らした発表内容で、大変興味をそそられ勉強になりました。なかでも私が最も感銘を受けたのは、全ての発表者の日本語がとても流暢でわかりやすかったことです。先生方のご指導はもちろんのこと、学生の皆さんの日々の努力の賜物に他なりません。

今回の4大学合同交流会が国や文化の相互理解を深める一助となり、今後は横の繋がりである大学間の交流が活発に行われることを期待します。同年代の日本語を学ぶ学生同士、興味や悩みを分かち合い励まし合いながら、更に成長していくのを楽しみにしています。(正会員 坂野 仁美)



「違うけどやっぱりひとつ」

アジア各国の方々と交流できる機会を設けて頂き有難うございました。

タイの発表では、赤蟻の卵を食べるという文化があることに驚きました。また、生まれた曜日によって、着ると幸運になる色と着るべきではない色があるということも初めて知りました。

インドネシアの発表では、多種多様な文化を持つインドネシアを表す「違うけどやっぱりひとつ」をモットーにしていることに感動しました。またペンチャックシラットとよばれる日本の空手

や柔道に似た競技の動画を見たときに、実際にインドネシアまで行って観戦したくなりました。

ベトナムの発表では、ベトナム人の一生を深くイメージすることができ、動画の中に出てきたサパやダラットなどの観光地に行ってみたいと思いました。

中国の発表では、みかんを食べたり飾ったりすることで幸福をもたらすと考えられていることが、日本の鏡餅の上にみかんを飾る慣習と似ていると感じました。

今回の交流会を通して、以前よりも世界各国の多様な文化に対して興味が深まり、またプレゼンターの日本語に感心しました。私も日本語以外の言語を上手に話せるようになって、違う国の人たちとコミュニケーションをスムーズにとれるようになりたいです。(鷗友学園中学1年 成瀬 歌音)

直接の学び

伝統的な服装や武術、食べ物など、他国の文化を学ぶことは本当に興味深い経験でした。特に、その国の人たちを通して直接学ぶことで、より本格的な視点で理解することができました。

一番印象に残っているのは、タイの学生たちの発表でした。彼らたちの課題はゲーム形式で発表されたので、とてもユニークで楽しかったと思います。インドネシア人として、他国の学生に自国の文化を話して、説明できたことも嬉しかったです。

インドネシアは多様な文化を持つ国なので、他の人々がその文化にもっと興味を持ってもらいたいです。

(パジャジャラン大学3年 アイラ アリーナ ファティラ
Iメイトは奥山正昭さん)



清華大学訪問記

5月25日、26日、5年ぶりの清華大学訪問旅行が実現し、老若男女16名の会員が参加した。

Zoomで見知っているが会うのは初めてというIメイト。リアルでの面会は感激だった。

26日の交流会では、学生たちがショートスピーチを披露。一応審査をし、いろんな賞を出したが、学生たちの素直な意見発表はどれも興味深かった。その後の懇親会では、架け橋グループの現

役や卒業生たちも加わって立食パーティ。楽器演奏あり歌ありで、あっという間の3時間だった。最後はキロロの「未来へ」を全員で合唱して締めくくった。

今回の訪問旅行では陳朝輝先生、王亜民さんには多大なご尽力をいただきました。おかげさまでとても充実した旅行でした。心よりお礼を申し上げます。

(理事 奥山 寿子)

お待ちかねのアジ風訪問団

清華園に、5年ぶりのアジ風訪問団がやって来た。

25日夕刻の顔合わせでは、会員は早朝から長時間移動にも関わらず、キャンパス内の宿泊施設「甲所」周辺を散策したり、Iメイト学生と連絡取り合ったり、疲れた様子もなく、まるで学生に戻ったように目が輝き歓声が溢れていた。

翌日午後開催の日本語コンテストと懇親会に参加した。会場の「文南楼」は5年前も会場だったのが記憶に新しい。定時に日本語コンテストが開始。日本語学科陳朝輝先生のご挨拶、三木京子理事が会の進行を説明、そして日本語学科2年生16人が、登壇し3分間ずつ、ユニークなスピーチを発表した。審査員の私は、若者のパワフルな演出に惹かれ、2時間はあっという間に過ぎた。

5年前のコンテストと比べ、今回は身近な話題を選び、自由に表現するのが特徴、交流の原点だ。続いて懇親会。会場は速やかに模様チェンジ、さらに架け橋グループ在校生とOB、OG、10数名が駆けつけてくれた。バイキング形式の懇親会で、交流がスタート。懇談の傍ら、会員も学生も次々とパフォーマンスを披露し、歓喜に包まれた会場で、映し出された笑顔が本当に素敵。Kiroro



の「未来へ」(中国語「後來」)をピアノ生伴奏のもとで全員が合唱、日本語と中国語が飛び交い、目と目、手と手、曲を通して絆が結ばれた親睦会は幕を下ろした。

(東工大北京事務室 王 亜民)

清華大学を訪れて

私は清華大学にIメイトはいませんが、以前テレビで紹介された美しいキャンパスを訪れたい、子供の頃から憧れだった万里の長城を歩いてみたい、という二つの夢を叶えるため、意を決して参加しました。初日は陳朝輝先生のユーモア溢れる案内で、広大で緑あふれるキャンパスに感動。二日目はいよいよハイライトの交流会。学生たちによる即興のスピーチコンテスト、真剣かつユニークな語り口に会場から割れんばかりの拍手でした。

その後の懇親会では、学生たちの日本留学に対する熱い思いを感じ取れました。初めての大学訪問ツアー参加でしたが、清華大学の皆さん、アジ風メンバーの皆さんとも交流を図ることができ、北京の歴史探訪(故宮や万里の長城など)まで満喫できた思い出深い旅になりました。

(正会員 横山 茂明)



枠組みを越えた交流

日本語学科学生によるスピーチコンテストを聞いて、最も大きな衝撃を受けたのは彼らの日本語能力の高さでした。日本語学習を始めてから2年にも満たないということが信じられないほど伝えたいことが明確に表現されており、普段の努力量をひしひしと感じました。その一方で、彼らのスピーチの内容に対しては共感することばかりで、異なる文化やバックグラウンドに生まれ育ってきたとは思えないほどでした。日常生活での小さな喜びや幼い頃の思い出など、各々の等身大の思いは私にも思い当たるが多く、“日本人”や“中国人”という枠組みを超えた交流ができたと感じています。国と国との関係以前に個人と個人の間にあるのだということを実感できました。

(学生会員 小林 透子)



一步一步の成果

今回は「アジアの新しい風」日本語ショートスピーチコンテストで一位を取ることができ、とても光栄です。たいへん嬉しいです。

こんなに良い成績が取れたのは、陳先生や倉重拓先生などの先生方のご指導、Iメイトの石橋様のお世話、そしてまわりの人たちの応援のおかげです。ここで深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今まで一步一步、少しずつ進めてきた日本語の勉強の成果が見えてきました。身につけた知識が役に立つことを実感しました。

この素敵な経験とその感激を胸に刻み、今後も日本語の学習に精進してまいります。

(清華大学3年 岳 正陽 Iメイトは石橋順子さん)



アジ風奨学生レポート

アジ風奨学金は、一千万円を基金として、2016年から始まりました。元Iメイト学生4名の受給者が、毎年1名ずつ日本の大学院を無事卒業して以来3年間、コロナ禍で応募者が途切れました。ようやく昨2023年度から応募が再開し、2名(昨年度例外として)の受給者が出て、支給額も月額7万円から10万円に増額しました。

これを機に、当奨学基金の永続を願って、寄付金を一口10万円から2万円へ切り下げ、より多くの会員のサポートを期待することになり、去る6月上旬に募金をしましたところ、合計144万円の寄付金が集まりました。みなさんのご厚志に深く感動している次第です。なお、現在の基金の総額は871万です。ご寄付をいただいた方々には現受給生との懇親会を予定しています。

過去の実績は右欄の通りです。



第一回生 クスマー・タイニコンさん タイ・タマサート大出身
琉球大学院・修士課程修了

第二回生 王 鶴さん 中国・清華大出身 一橋大学院・修士課程修了

第三回生 王 雋淇さん 中国・清華大出身 一橋大学院・修士課程修了

第四回生 ドウ・アイン・トゥさん ベトナム・ハノイ貿易大出身
神戸大学院・修士課程修了

第五回生 ド・フォン・アインさん ベトナム・ハノイ貿易大学出身
神戸大院・修士課程進学・奨学金受給中

第六回生 施奕敏さん 中国・清華大出身 東京大学院・修士課程進学
奨学金受給中。

今年度の応募奨学生は、7月中に決定し、秋号のこの紙面で紹介いたします。また受給生のみなさんには積極的にアジ風の活動に関わっていただき、卒業後の動静についても、お知らせする予定です。今後ともアジ風奨学生への支援と、ご関心をよろしくお願いいたします。

(奨学金担当 副理事長 上 高子)

交流3校 春のIメイト交流会

2024年、オンラインのIメイト交流会が3大学で行われました。貿易大学(3月10日)は「ベトナム人の健康の保護」、タマサート大学(3月16日)は、会員の安川一さんが「ひな祭りとこどもの日」を紹介、パジャジャラン大学(4月7日)は「好きな日本語と食文化」をテーマに、交流しました。各大学からの報告です。(理事 島村 美智)

私は2年間Iメイトに参加してきて、おしゃべりの場や他の大学合同交流会などに参加でき、自分自身の成長につながりました。語学力の向上はもちろん、多くの友人もできて、自信もつきました。

春のIメイト交流会に参加しましたが、私たちは非常に楽しいゲームを行い、「日本人とベトナム人の健康の守り方」というテーマについて共有し、それぞれのグループで話し合いをしました。

3月に行われたタマサート大学との交流会で、「ひな祭り」と「端午の節句」の話をしました。この資料として、日本財団の発行している日本語テキストの「いろいろ」を使用しました。

これは、ネット上で公開されていて、だれでも自由に利用できます。また、各国語版があるので、私は、以前から、塩釜で働く

好きな日本語は、一度しかない瞬間という意味の「一期一会」と話しました。この言葉を聞くとその瞬間に感謝し、大切にしようと思う。他の人の好きな日本語はそれぞれ個性的な意見で、新しい言葉や感想を知ることは素晴らしいです。

好きな日本料理はネギトロ丼と寿司と話す、ズームの誰かも

笑顔に彩られた交流会の後は、誰でも次の交流会を心待ちにしています。さらに多くの交流会に参加できることを楽しみにしています。

(貿易大学4年 ダオ・テイ・ミン・グエット Iメイトは林孝男さん)



技能実習生のための日本語教室の教材に利用していました。

交流会が終わった後、タマサート大学の学生から、照会がありました。

(正会員 安川 一)



ネギトロ丼が好きだと言って、嬉しくなりました。今まで知らなかった日本食も聞いたので、いつか食べてみたいと思っています。交流会は楽しいです!

(パジャジャラン大学3年

アマンダインダー プトリ Iメイトは原谷洋美さん)



「ここに幸あり」 続報

ゲン・テイ・ガンさんの結婚式

2024年3月30日と31日にガンさんの結婚式に娘と参列しました。彼女の実家のバクザン(バクザン)は11年ぶりの訪問ですが、静かな農村から賑やかな町に変わり、3階建ての広い立派な家になっていて驚きました。

新郎新婦はベトナムの伝統的な赤い服を着て、家の祭壇前で結婚式。その後家の前の大きなテントで披露宴。家族や親戚手作りのご馳走を囲み、大音響のカラオケで



盛り上がりました。

2日目、ガンさんは白いウエディング姿で美しく輝いていました。

ガンさんが青森中央学院へ留学していた時は青森まで会いに行ったり、昨年7月、ガンさんが研修旅行で来日した時には我が家に泊まり、一緒に上野へ行ったりと、卒業後もご縁が続いています。

(正会員 児玉 久美子)

12回目の結婚式はレ・タイン・トゥーさん

「11月19日に結婚する予定です。今井さん、フエに来てくださいね」元アジ風メンバーのレ・タイン・トゥーさんから昨年夏前に連絡がありました。この1年で貿易大学卒業生の結婚式が集中し、4回参加しました。ベトナムでの結婚式は合計12回。

結婚式当日。午前中はフエ市中心部のトゥーさん自宅で、午後には結婚式場で、数百人の招待客を迎えて賑やかに華やかに行われました。スリムな花嫁トゥーさん、185センチ100キロ超、元



プロボート選手の花婿ティンさん。新しい夫婦の誕生にめでたく楽しく立ち会えました。

結婚式旅行では貿易大学の卒業生のリンさんとハンさんに懐かしい再会。結婚式前日、ハノイからフエに向かうハンさんとハノイ空港でバツタリ。当日、フエ出身のリンさんが早朝から観光案内をしてくれました。

13回目の結婚式はいつ・誰の結婚式でしょう?楽しみです。

(正会員 今井 進)

会員紹介

三木京子さん

東京で生まれた三木さんは小学校低学年の3年間を仙台で過ごし、その後はずっと東京育ち。音楽が大好きで中学校は合唱部で歌っていました。英語は苦手だが数学に興味があった三木さんは理工学部に進み、日本IBMに入社してシステムズエンジニア(SE)になりました。当時は、SEを目指す女性も増えつつある時代でした。大型コンピューターのソフトウェアの技術支援を担当し、様々な企業と交流がありましたが、主に製造業、すなわち物作りの会社のシステム開発プロジェクトなどに参加したそうです。

「いろいろな国に行きましたが、中国の大連に拠点を持つ中国人のIT技術者と一緒に仕事をを行った経験が、今のアジ風の活動に繋がったのかもしれない」「アジ風には正会員の古畑仁一さんのお勧めで入会しましたが、『中国やタイやベトナムやインドネシアで日本語を勉強している学生と、英語ではなく日本語でコミュニケーションする』とお聞きし、それなら私でもできるかな

と思ったことが入会の動機でした」と笑って話して下さいました。

Iメイト交流では、日本や中国で、学生と直接会って話げできたことが印象的だったそうです。また、パジャジャラン大学の学生から、メールで「両親が日本留学を反対しているが、どうしたらいいか」という相談があったそうです。自身も高校時代に同じ経験があり、反対する両親を説得出来なかったことを後悔したので、「何故留学したいのか、何故両親が反対しているのかしっかり考えて」とアドバイスしたが、その後、交流が途絶えてしまい、気になっていると語って下さいました。

アジ風の各種交流会やおしゃべりの場などを通じて、横の広がりが増やして行くことができればIメイト交流の楽しさも倍増するだろうとご提言を頂きました。

インタビュアー：園田 成和





貿易大学では7月から8月中旬までの夏季休暇に入りました。この期間中に学生たちは旅行や帰省をしますが、一部の学生たちは約1か月間大学に残り夏学期を受講したり、一部の三年生たちはインターンシップに参加したりして過ごします。

今回は昨年秋にマッチングした中本寧さんとブ・ティ・フォン・チさん、松野芳夫さんとチャン・ゴック・ミンさんの交流をご紹介します。利用しやすい方法を選択して交流されています。(コーディネート 小林 玲子)

中本寧さんとブ・ティ・フォン・チさんの交流

(黒字：中本さん 緑字：チさん) 2024年5月5日



こんにちは♪日本は今日は子どもの日です
鯉のぼりが泳いでいました
昔は男の子のいる家はほとんどあげていましたが、最近あまり見かけないです♪



なかさんこんにちは！
なかさんの週末は色んな面白いところに訪問したそうですね 😊😊😊
鯉のぼりは風が降ったらきれいですね♪
(中本が大菩薩峠に登った事を受けて)
私まだ自分で山を登る機会がありませんからやってみたいと思います ✨

ベトナムの山は普通でお寺がありますから、みんなはバスとかバイクで登ります

自分で登るの方は全部階段が上がっています(笑)
こんな感じです♪



登るには便利ですね(^^)
そうなんです♪

次回、チさんが日本に来た時はぜひ山登りに行きましょう(^^)
はーい、楽しみです！

山の上で食べるお弁当は最高です(^^)
やってみたいですね 😊😊😊

私はそんな良い機会がまだ体験できないから楽しみです！

往復で4時間ぐらいなら楽ですよ

あと温泉が近くにあるところもあります。

山を下りてからの温泉は気持ちいいですよ(^^)
すごいですね 😊✨

なかさんのためにすぐ日本に行きたいです(笑)
富士が見たいです！

松野芳夫さんとチャン・ゴック・ミンさんの交流

松野さん→ミンさん

2023年10月26日



初めまして。アジアの新しい風の松野芳夫です。ミンさんと呼んでいいですか。これから、ミンさんとの交流を楽しみたいと思います。ミンさんは、1年生でN2の実力ですね。素晴らしいです。お互いの文化・生活・歴史や大学生活について話しましょう。

ミンさん→松野さん

2023年10月27日



初めまして。私はチャン・ゴックミンです。ミンと呼んでもかまいません。今は、N1を勉強していますが、とても難しいです。N2は合格しましたが、会話能力はまだです。私の名前のゴックは日本語で「玉」、ミンは、「明」です。明るい玉と言う漢字で親がつけました。

松野さん→ミンさん

2023年10月27日

日本語の上達には、色々な場面で話す経験を増やすことですね。たくさん間違っても良いのです。そしてそれをメモしましょう。若い脳は、しっかり記憶します。

ミンさん→松野さん

2024年1月22日

今日1月22日、JLPTのN1に合格しました。点数は、ギリギリでしたが、皆に祝ってもらい嬉しかったです。

松野さん→ミンさん

2024年1月23日

おめでとうございます。ミンさんの努力と最後まであきらめない気持ちで、合格を獲りました。これまでの60通を超えるメールを見返しながら、合格を信じていました。

ミンさん→松野さん

2024年4月29日

お久しぶりですね。軍事訓練はとても大変でした。21日間休日もなく勉強させられました。湿度が高く、気温も35度を超え雨も多く実習と理論を学びました。理論でも講堂まで2Kmを2往復しました、かなり痩せました。訓練中に、新しい友達ができ、いい思い出ができました。

松野さん→ミンさん

2024年4月30日

軍事訓練、お疲れ様でした。きっと心身ともに成長できたと思います。ご両親も帰って来たミンさんの成長した姿に感動しているでしょう。

今後の行事予定

*詳細はHPを参照

7月14日(午前10時から12時)

Iメイト交流交歓会(オンライン)

9月15日(午前9時から12時)

総会および講演会 場所 未定

10月下旬

パジャジャラン大学訪問

11月9日

西日本・九州地区Iメイト交流会

於：熊本(リアル)

・・・編集後記・・・

進級を控えたIメイト達に「あなたの夢は」と問いました。

万葉集には夢を詠んだ歌がたくさんあります。「門(かど)立てて 戸を閉(と)してあるを いづくゆか 妹が入りきて 夢に見えつる」は睡眠中に思い人の魂がどこから入り込んで姿を現した、と文字通りの夢が詠まれます。「光る君へ」の平安時代には夢は不思議な力を持つものとして描かれ、「夢合わせ」や「夢占い」など物語性が生まれます。

今を生きる4人の学生の答は「成りたい職業を日本語教師からコンテンツ制作者へ変更する」「国の料理を具にしたおにぎり屋を開きたい」と具体的な希望や「日本に留学する」「彼と住む家で犬を飼いたい」と足元を見据え現実的です。

鳥の目虫の目を持ちながら、Iメイト学生すべてがそれぞれの未来の姿を描き、希望を夢と信じて追い続けてほしいとエールを送ります。(原谷 洋美)